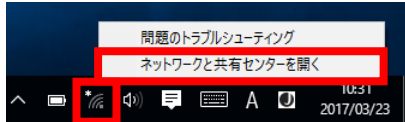
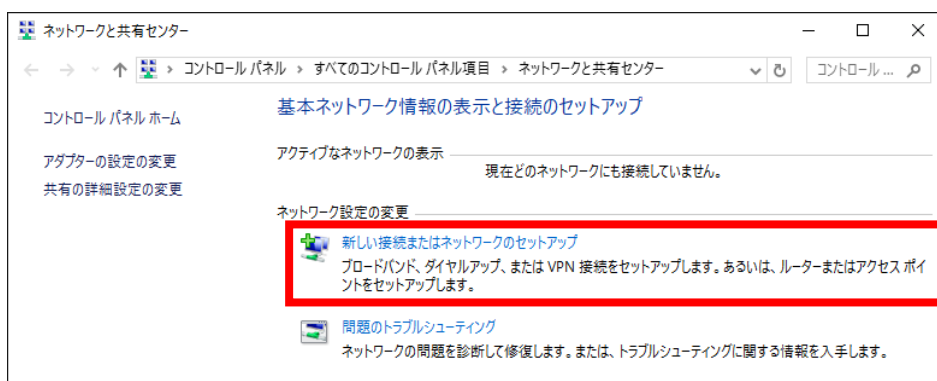


## 無線 LAN 接続マニュアル (Windows 10)

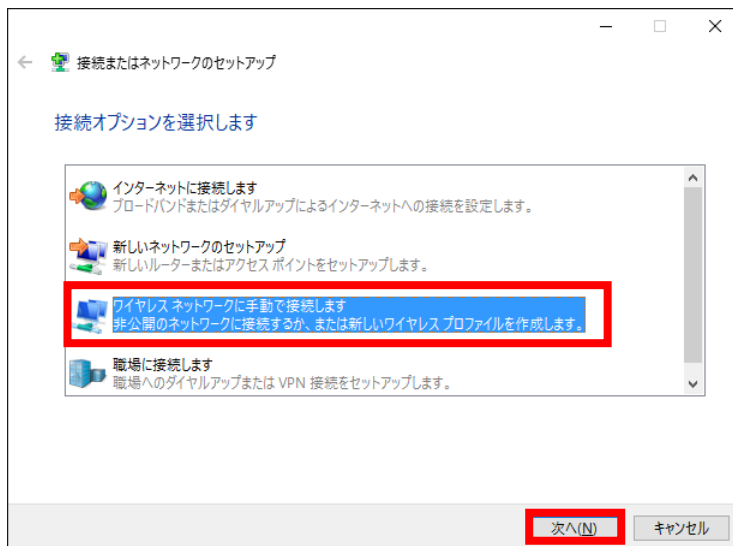
- ① タスクトレイのネットワークアイコンを右クリックし、「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。



- ② 「ネットワークと共有センター」で「新しい接続またはネットワークのセットアップ」を選択します。



- ③ 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



- ④ 以下のとおりネットワーク情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。次の画面で「接続の設定を変更します」をクリックします。

ネットワーク名	SENSHUWL-X
セキュリティの種類	WPA2-エンタープライズ
暗号化の種類	AES

← ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E): SENSHUWL-X

セキュリティの種類(S): WPA2-エンタープライズ

暗号化の種類(R): AES

セキュリティキー(Q):  ☐ 文字を非表示にする(H)

☒ この接続を自動的に開始します(I)

☐ ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

次へ(N) キャンセル

← ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

正常に SENSHU-X を追加しました

→ 接続の設定を変更します(H)  
接続のプロパティを開き、設定を変更します。

- ⑤ 「セキュリティ」タブをクリックし、「ネットワークの認証方法の選択」で「Microsoft: 保護された EAP(PEAP)」が選択されている事を確認し、「設定」ボタンをクリックします。

SENSHU-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

名前: SENSHU-X

SSID: SENSHU-X

ネットワークの種類: アクセス ポイント

ネットワークの利用範囲: すべてのユーザー

☒ このネットワークが接続範囲内に入ると自動的に接続する(M)

☐ このネットワークに接続した状態で別のワイヤレス ネットワークを探す(L)

☐ ネットワークが名前 (SSID) をブロードキャストしていない場合でも接続する(O)

OK キャンセル

SENSHU-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ

接続 セキュリティ

セキュリティの種類(E): WPA2 - エンタープライズ

暗号化の種類(N): AES

ネットワークの認証方法の選択(O): Microsoft: 保護された EAP (PEAP) 設定(S)

☒ ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(B)

詳細設定(D)

OK キャンセル

- ⑥ 「保護された EAP のプロパティ」画面で以下のとおり設定し、「OK」ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Protected EAP Properties' dialog box. The following settings are highlighted with red boxes and arrows pointing to explanatory text boxes:

- 接続のための認証方法:** ☒ 証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V) → 「証明書を検証してサーバーの ID を検証する」にチェックを入れる
- 信頼されたルート証明機関(R):** ☒ Security Communication RootCA2 → 「Security Communication RootCA2」にチェックを入れる
- 認証方法を選択する(S):** セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) → 「セキュリティで保護されたパスワード(EAP-MSCHAP V2)」を選択する
- 接続前の通知(I):** サーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します
- 高速再接続を有効にする(E):** ☒ (checked)
- サーバーに暗号化バインドの TLV がいない場合は切断する(D):** ☐ (unchecked)
- ID プライバシーを有効にする(I):** ☐ (unchecked)

At the bottom, the 'OK' button is highlighted with a red box.

A red arrow points from the 'Security Communication RootCA2' selection to the 'EAP MSCHAPv2 Properties' dialog box, which is also shown with annotations:

- 接続のための認証方法:** ☐ Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う(A) → チェックを外す
- OK** button is highlighted with a red box.

- ⑦ ⑤のセキュリティタブに戻り、「詳細設定」ボタンをクリックし、以下のとおり設定を行います。

The screenshot shows the 'SENSHU-X Wireless Network Properties' dialog box. The 'セキュリティ' (Security) tab is selected. The following settings are highlighted with red boxes and arrows pointing to explanatory text boxes:

- セキュリティの種類(E):** WPA2 - エンタープライズ
- 暗号化の種類(N):** AES
- ネットワークの認証方法の選択(O):** Microsoft: 保護された EAP (PEAP) → 設定(S)
- ログオンするたびに、この接続用の資格情報を使用する(R):** ☒ (checked)
- 詳細設定(D)** button is highlighted with a red box.

The '詳細設定' (Detailed Settings) dialog box is shown with the '802.1X の設定' (802.1X Settings) tab selected. The following settings are highlighted with red boxes and arrows pointing to explanatory text boxes:

- 802.1X の設定:** ☒ 認証モードを指定する(P): ユーザー認証 → 「802.1X の設定」タブの「認証モードを指定する」にチェックを入れ、「ユーザー認証」を選択する
- 資格情報の保存(S):** ☐ (unchecked)
- すべてのユーザーの資格情報を削除する(D):** ☐ (unchecked)
- このネットワークに対するシングルサインオンを有効にする(S):** ☐ (unchecked)
- このネットワークでは、コンピュータとユーザーの認証に別の仮想 LAN を使用する(V):** ☐ (unchecked)
- OK** button is highlighted with a red box.

- ⑧ 「SENSHUWL-X ワイヤレス ネットワークのプロパティ」画面で「OK」ボタンをクリックし、次の「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。

- ⑨ タスクトレイのネットワークアイコンをクリックし、「SENSHUWL-X」を選択して、「接続」ボタンをクリックします。「ユーザー名」と「パスワード」に情報科学センターのユーザーID とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。
- 「SENSHUWL-X」に「接続済み、セキュリティ保護あり」と表示されれば、接続完了です。

